

Pirka' r  
インストール／起動マニュアル

The Ashikunep Kotan

## 利用環境

- Windows・・・XP または Vista
- Mac・・・・Mac OSX Leopard
- Linux・・・・Ubuntu 9.04 または SUSE Linux Enterprise Server 10

## クライアント利用環境準備

Pirka'r は Java (JRE または JDK) を利用します。

Windows、Linux 版クライアントをご利用の場合はバージョン 6 を使用してください。

Mac 版のクライアントをご利用の場合はバージョン 5 を使用してください。バージョン 6 では動作しません。

検証サーバはバージョン 5 以降を使用してください。

ご利用環境に Java がインストールされていない場合は下記よりダウンロードしてインストールしてください。

<http://www.java.com/ja/download/>

## クライアントインストール

Pirka'r はインストールの必要はありません。

ダウンロードしたファイルを解凍すれば終了です。

※パスに日本語や” “ (半角空白)、” ” (全角空白)、記号などが含まれる場合は正常に動作しないことがあります。

※アンインストールは解凍したフォルダごと削除してください。

## クライアント起動

※Pirka'r のブラウザ互換性チェックには検証サーバが必要です。

クライアント起動前に検証サーバを起動してください。

検証サーバの起動方法は「検証サーバインストールマニュアル」を参照してください。

### 【Windows】

pirkar¥pirkar.exe を実行

### 【Mac】

pirkar/pirkar.app/Contents/MacOS/pirkar を実行

### 【Linux】

pirkar/pirkar を実行

## クライアント終了

アプリケーションを閉じる。またはメニューバー「ファイル」→「終了」を選択。

## クライアント設定

設定項目とその内容を説明いたします。

メニューバー「ウィンドウ」→「設定」→「Web」→「非互換性検証」を選択してください。

### ◆ 互換性チェック設定

検証サーバ URL、結果取得依頼回数、結果取得間隔（秒）を設定します。

- 検証サーバの URL  
ブラウザ互換性チェック依頼を行うサーバ URL  
初期値 "http://localhost:8080/wisdom-server-publisher"
- 最大ポーリング回数  
ブラウザ互換性チェック依頼後、結果をサーバに問い合わせる回数。  
※少ない値を設定した場合、検証サーバの検証処理が完了せずに検証結果を表示できない場合があります。
- ポーリング周期(秒)  
ブラウザ互換性チェック依頼後、結果をサーバに問い合わせる間隔。  
※短い値を設定した場合、検証サーバの検証処理が完了せずに検証結果を表示できない場合があります。

## 検証サーバ利用環境準備

Pirka'r 検証サーバは Java (JRE または JDK) を利用します。

Java はバージョン 5 以降を使用してください。

ご利用環境に Java がインストールされていない場合は下記よりダウンロードしてインストールしてください。

<http://www.java.com/ja/download/>

Java のインストール後、環境変数を設定してください。

- JRE をインストールした場合、環境変数”JRE\_HOME”にインストールした JRE のフォルダを設定してください。
- JDK をインストールした場合、環境変数”JAVA\_HOME”にインストールした JDK のフォルダを設定してください。

## 検証サーバインストール

Pirka'r はインストールの必要はありません。

ダウンロードしたファイルを解凍すれば終了です。

※パスに日本語や “ ” (半角空白)、 “ ” (全角空白)、記号などが含まれる場合は正常に動作しないことがあります。

※アンインストールは解凍したフォルダごと削除してください。

## 検証サーバ起動

### 【Windows】

pirkar-server-バージョン番号(※)¥suite-start.bat を実行

### 【Mac、Linux】

Mac 利用の場合はターミナルを起動

1. pirkar-server-バージョン番号 ディレクトリに移動
2. suite-start.sh を実行

(Tomcat (ブラウザ互換性検証 Web アプリケーション) と H2 データベースが起動します。)

※ 利用しているサーバアプリケーションのバージョン番号を指定してください。

## 検証サーバ終了

### 【Windows】

コマンドプロンプトを終了

Tomcat の終了は 2 ~ 10 秒程度の時間がかかります。

終了しない旨のダイアログが表示されてもしばらくお待ちください。

### 【Mac、Linux】

pirkar-server-バージョン番号/suite-stop.sh を実行

## 検証サーバ設定

設定項目とその内容を説明いたします。

ブラウザで [http://検証サーバホスト\(※1\)/ incompatibility-validation-engine-バージョン番号/](http://検証サーバホスト(※1)/ incompatibility-validation-engine-バージョン番号/) にアクセスしてください。

※1 検証サーバホストはクライアントと同一コンピュータで、初期設定で動かしている場合は”localhost:8080”です。

### ◆ 検証内容設定

検証内容の名称を設定します。

独自の検証ルールを設定することが可能です。

### ◆ 検証内容自動更新

検証内容を自動更新するスケジュールを設定します。

設定内容は、更新周期、検証ファイル URL。

互換性検証の検証ファイル URL は下記 URL を指定する。

[http://pirkar.ashikunep.org/download/pirkar\\_validation.zip](http://pirkar.ashikunep.org/download/pirkar_validation.zip) (2009年7月30日現在)

### ◆ 検証内容手動更新

検証ファイルをアップロードして検証内容を更新します。

## 検証サーバアプリケーション解説

検証サーバには以下のアプリケーションが設定されています。

### 1. incompatibility-validation-engine

ブラウザ互換性検証アプリケーション。

wisdom の engine として動作する。

### 2. wisdom-server-publisher

クライアントからの検証依頼を受け付けるアプリケーション。

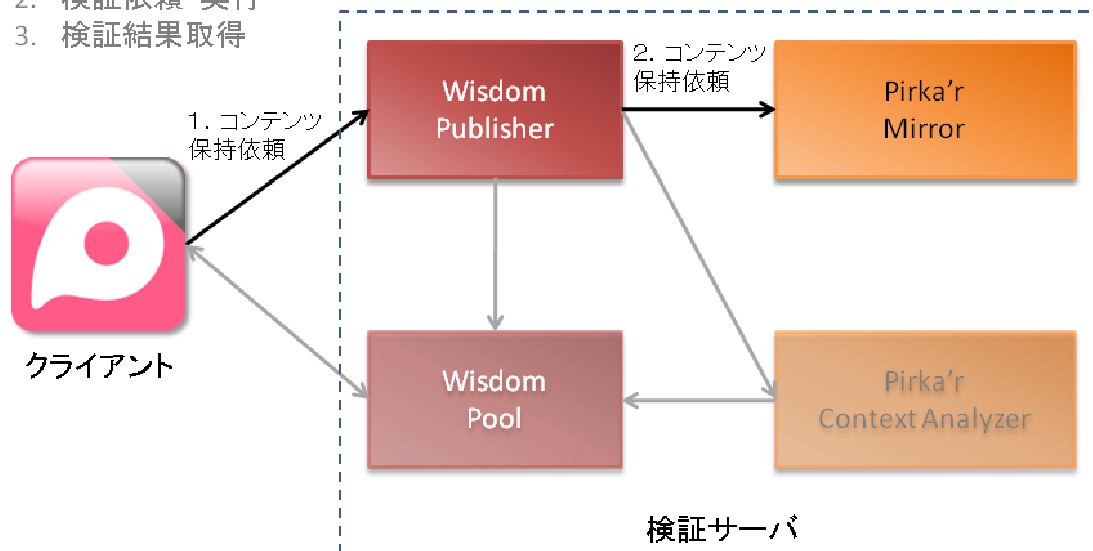
クライアントで検証サーバ URL として設定する。

### 3. wisdom-server-pool

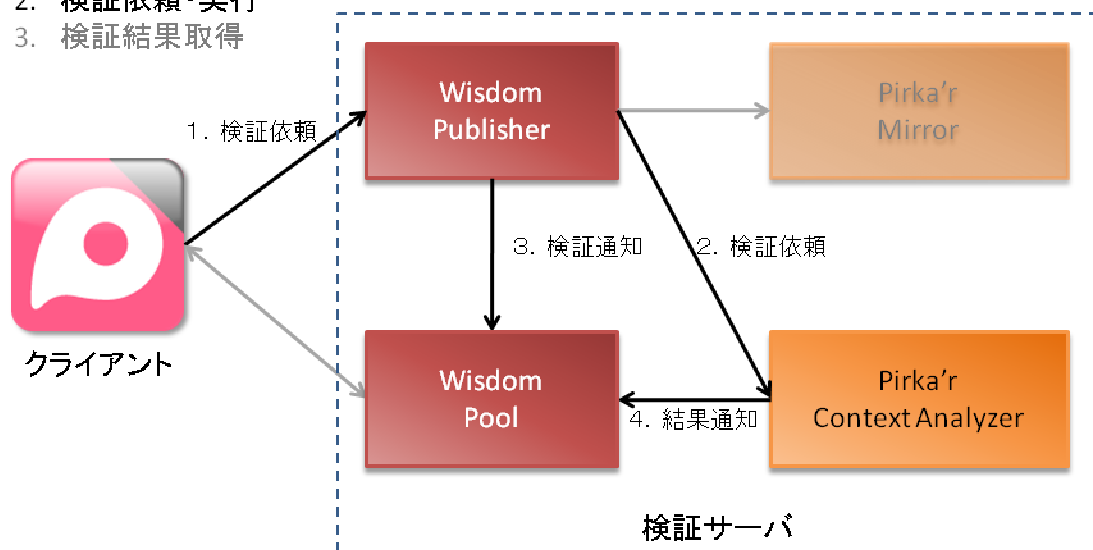
検証結果を保持するアプリケーション。

Pirka'r ブラウザ互換性検証の流れ

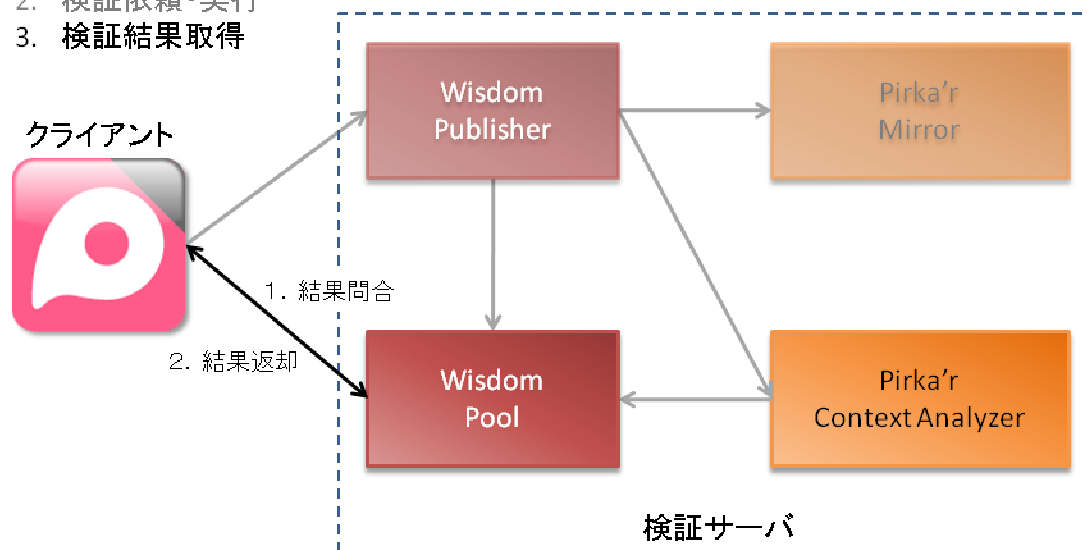
1. 検証対象コンテンツの転送
2. 検証依頼・実行
3. 検証結果取得



1. 検証対象コンテンツの転送
2. 検証依頼・実行
3. 検証結果取得



1. 検証対象コンテンツの転送
2. 検証依頼・実行
3. 検証結果取得



- wisdom とブラウザ互換性検証アプリケーションの連携設定  
以下の URL で設定の確認が可能です。

<http://検証サーバホスト/wisdom-server-publisher/engine>

以下、設定内容と役割

- ◆ pirkarContextAnalyzer  
コンテンツの解析と検証。
- ◆ pirkarMirror  
検証対象となるコンテンツの保持。